

自第一號（平成三十一年六月）  
至第四號（平成三十一年三月）

# 東洋史研究

第七十七卷 總目次

東洋史研究會

參國伍鄙再考——齊國の改革プラン……………	宗 周太郎	一	(一)
漢の高祖の「斬蛇劍」——その歴史的展開について……………	目黒 杏子	一	(三)
後漢桓帝の親政と宦官の國政關與……………	渡邊 將智	一	(六)
義熙土斷における劉裕の政治的意圖——僑豫州および僑淮南郡の實土化をめぐる……………	小尾 孝夫	一	(九)
「中國古代についてのエッセー」(一七七六) 讀解——第一部を中心に……………	新居 洋子	一	(三〇)
唐律における流刑の本質——恩赦との關係を中心に……………	辻 正博	二	(七)
一〇—一五世紀東ユーラシアにおける錢貨流通……………	三宅 俊彦	二	(六四)
境界と匪賊——一九世紀中國・ベトナム間における「越境」と清朝—阮朝關係……………	望月 直人	二	(九九)
日中戰爭初期華北における佛教同願會の成立と對日協力……………	廣中 一成	二	(三四)
高麗前期王師任命と國際情勢……………	中村慎之介	三	(六五)
戰國秦の「邦」と畿内……………	渡邊 英幸	三	(四〇)
北魏洛陽北邙墓群の構成と變遷……………	村元 健一	三	(四四)
φουλαγορο と pni ho r —トハリスタンとソグドにおける在地役人の比較研究……………	宮本 亮一	三	(五〇)
ゴロフキン使節団の陸路貿易構想——一九世紀初頭のプフタルマ貿易を中心に……………	中村 朋美	三	(五四)
近代中國における肺結核の問題化……………	瞿 艷丹	四	(五一)
中華民國北京政府期の清室優待條件下における北京旗人社會の一側面……………	阿部由美子	四	(六七)
——護軍都護副使、古物陳列所所長・治格の經歷をてがかりに……………			

五・三〇運動をめぐる天津の動向——國際政治および經濟の觀點から——	衛藤 安奈	四	(六五)
汪兆銘南京國民政府下における學校教育の展開	大澤 肇	四	(六八)
毛澤東の物語の成立と展開——日中戰爭期から建國初期——	丸田 孝志	四	(七七)

書 評

鈴木 舞著 『殷代青銅器の生産體制——青銅器と銘文の製作からみる工房分業——』	丹羽 崇史	二	(二六)
宮古文尋著 『清末政治史の再構成——日清戰爭から戊戌政變まで——』	大坪 慶之	二	(二八)
土肥 步著 『華南中國の近代とキリスト教』	倉田 明子	二	(二九)
永島 剛・市川智生・飯島 涉編			
『衛生と近代——ペスト流行にみる東アジアの統治・醫療・社會——』	小堀 愼悟	二	(三〇)
松崎つね子著 『睡虎地秦簡と墓葬からみた楚・秦・漢』	下倉 涉	三	(四七)
森 萬佑子著 『朝鮮外交の近代——宗屬關係から大韓帝國へ——』	古結 諒子	三	(四九)
小濱正子・下倉 涉・佐々木愛・高嶋 航・江上幸子編			
『中國ジェンダー史研究入門』	酒井 恵子	四	(五五)
姜 智恩著 『朝鮮儒學史の再定位——十七世紀東アジアから考える——』	中 純夫	四	(七七)

近 刊 叢 欄

- 一 (一六)
- 二 (三九)
- 三 (五六)
- 四 (七二)

大會抄録

壬辰戰爭後の明の對日警戒と朝鮮・日本・琉球……………	木村可奈子	三	(五〇)
宋元時代における顔真卿の顯彰とその背景……………	津坂 貢政	三	(五〇)
日本人の見た奉天、中國人の生きた奉天……………	上田 貴子	三	(五〇)
デリー・サルタナト期パンジャブ北部の土着集團について……………	小倉 智史	三	(五〇)
一六六〇年のイスタンブル大火とその歴史的评价……………	澤井 一彰	三	(五〇)
アジア・太平洋海域の陶磁器貿易……………	野上 建紀	三	(五〇)
王珪之『齊職儀』の編纂をめぐって……………	佐藤 達郎	三	(五〇)
唐朝の羈縻政策に関する一考察……………	森部 豊	三	(五〇)
金代幣制の諸問題……………	宮澤 知之	三	(五〇)